

おだがいさま

odagaisama

第62号
平成28年
2月1日発行

田川版見守り虎の巻

「おだがいさま見守りネットの手引き」が完成しました！



田川地区社協では、少子高齢化が急速に進んでいることをうけ、住民みんなで見守り、支え合う仕組みづくりを進めています。その一環として、昨年5月にプロジェクト委員会を立ち上げ、6ヶ月にわたる話し合いをへて「おだがいさま見守りネットの手引き」を作成しました。

この冊子は、地区住民や各種団体による具体的な見守り方法、緊急時の目安、おかしいと感じた時の相談窓口などについて、地区の現状にあわせてA4判8ページにわかりやすくまとめられ、まさに「田川版見守り虎の巻」とも言える内容に仕上がっています。

同地区社協の鈴木裕志会長は、「日頃からのご近所づきあいが残っている今のうちに、見守りのネットワークを広げていくことが大切。できるだけ多くの研修会や会議、会合などに出向き、この冊子を使って、地区全体の見守り力を底上げしたい」と、今後の抱負を熱く語ってくださいました。

日本の経済は上向きといわれていますが、国民一人ひとりの生活の中で実感されるにはまだほど遠く、厳しい経済が続いております。昨年は生活困窮者自立支援法が施行され相談窓口を開設しましたが、子どもの貧困も問題視されており、市社協としても、こうした諸問題に向き合い、力を注いで参りたいと存じます。本年も市民福祉の向上のため皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。今年も市社協の合言葉であります「もっけだのう」「おだがいさま」をモットーに、地域福祉事業をはじめ、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉事業等、鶴岡市社会福祉協議会役員一同、市民の幸せのため、更に頑張ることを新年にあたり改めてお誓い申し上げます。



会長 難波 玉記

年頭のご挨拶



ボランティアを

ボランティアしたい人の“おもい”って??

～人とのつながり、笑顔が活動の源～

施設で活動したい人たちの実際の“おもい”はどうか？そこで市社協主催「ボランティア養成講座」の受講者を対象にアンケートを行いました。その結果、ボランティアの皆さんは活動を通じて人とのつながりや出会いに満足感を得ている一方、慣れない施設では勝手も分からず戸惑ったり困ったりしていることが分かりました。

Q1 活動のきっかけ（一歩を踏み出した理由）

- ・活動を通して、色々な人と接してみたいと思った。
- ・趣味の活動からボランティアにつながった。
- ・普段していることが実はボランティアだった。

Q2 受入れ先の対応で嬉しかったこと

- ・施設の現状、手伝う内容について丁寧に説明してくれた。
- ・職員や利用者さんが笑顔で接してくれた。
- ・利用者さんに「また来てね」と言われた。



誕生会にはボランティアからパワーをもらってハッスル、ハッスル!!

Q3 受入れ先の対応で困ったこと

- ・最初の指示がなく何をすればいいのか分からず困った。
- ・初めての時は作業にも慣れていないので戸惑った。
- ・自由に任されたが、自由すぎて自分の行動がいいのか心配になった。

これらのアンケートなどの結果から見えてくるのは、「近年ボランティア受入れ担当者が配置されている福祉施設が多くみられるようになり、直接施設へ問い合わせでも対応できる環境が整ってきている」ことと、一方で「施設それぞれで行われている事前説明の有り方にばらつきがみられる」ということです。

このような傾向を踏まえ、ボランティア活動を継続的に発展させていくためにも、鶴岡市ボランティアセンターでは、以下にまとめた要点を伝えながら、各種講座を開催していきたいと考えています。

「すきな時間」で…「自分のスタイル」で…ボランティア活動をしてみませんか？興味のある方は活動を探すお手伝いをさせていただきますので、ボランティアセンターにお問合せください。

お問い合わせ先：鶴岡市ボランティアセンター（にこ♥ふる 2 階）TEL 23-2970

□やっぱり最初が肝心!!

初めて活動される方々にとって、慣れるまでは不安が大きいもの。施設での事前説明などの行い方次第でボランティアの不安が安心に変わります。また、ボランティアをされる方々は迷ったら気軽に職員に聞いてみましょう。

□謙虚な姿勢が大切!!

善意というものは押しつければ、かえってマイナスになります。活動する人は謙虚さも一つの武器です。ボランティアを「求めている施設」、「したい人」双方の心がけでよりよい活動が実現するのではないのでしょうか。

□ボランティアの特性を思い出そう!!

ボランティアは自分から進んで行動する“自発性”、共に支えあい学びあう“社会性”、見返りを求めない“無償性”、新しいものを取り入れる“先駆性”の4つの特性があることを思い出しましょう。

求めている施設としたい人

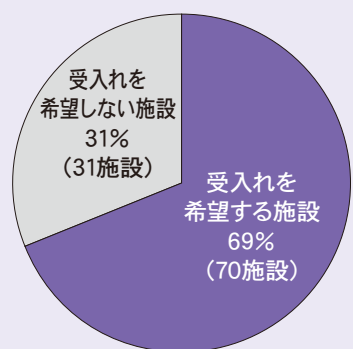
鶴岡市ボランティアセンターには、毎年10名程ボランティアの新規登録がありますが、全体の登録者数は減少傾向にあります。これには近年のボランティアの活動スタイルや福祉施設の受入れ体制の変化が関係していると考えました。

そこで、「ボランティアをしたい人と福祉施設」に注目し、ボランティアの受入れ体制の整備状況や、福祉施設がボランティアを求めている理由などについて、アンケート調査を行いました。

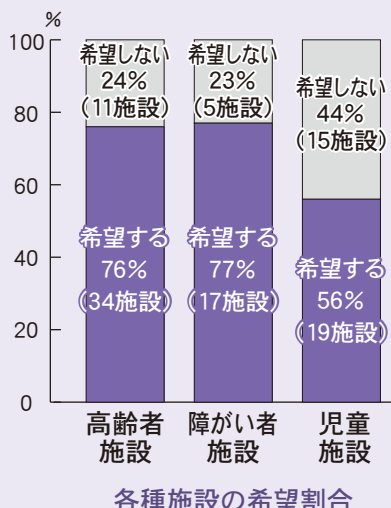
福祉施設ではボランティアを求めている！！

市内171の福祉施設（高齢者施設78・障がい者施設36・児童施設57）の内、ボランティアの受入れ希望がある施設はどのくらいあるのかアンケートに協力をお願いしました。その結果、101施設から回答があり、その内およそ7割の施設でボランティアの受入れ希望があることが分かりました。

● ボランティア受入れ希望割合と施設で希望する活動



アンケート回答のあった
101施設での受入れ希望割合



内 容	合計	高齢	障がい	児童
レクリエーション	25	16	4	5
話し相手	28	24	3	1
買物など付き添い	11	9	2	0
手芸など趣味活動の指導	25	19	2	4
読み聞かせ	22	13	1	8
お茶出し・配膳・下膳	20	18	0	2
散歩・外出移動の補助	25	15	5	5
芸能発表	38	30	7	1
行事のお手伝い	30	15	5	10
施設職員とともに行う補助的な活動	29	16	4	9

各種施設の希望割合をみると、高齢者・障がい者施設では7割5分以上の施設で受入れを希望しており、施設が希望する活動内容は、より具体的で幅広い活動になっていることが分かりました。中でも高齢者施設では余暇活動での「芸能発表」が多く、一方、障がい者施設では「散歩・外出・館内移動の補助」、児童施設は「行事のお手伝い」「読み聞かせ」が多いなどの傾向がみられました。

なぜ？施設ではボランティアを求めるの??

～ボランティアパワーで施設が元気～

アンケートの結果から、多くの福祉施設ではボランティアの受入れを希望していることが分かりました。それではなぜ多くの施設でボランティアの受入れを希望しているのでしょうか？市社協主催「施設ボランティア受入れ担当者スキルアップ講座」のグループワークで意見をうかがいました。その結果、ボランティアは施設の理解者として重要な存在となっていることが分かりました。

Q施設でボランティアを受入れる理由は？

- ・外部の人が入ることで開放的になる。
- ・多様な関わりで雰囲気を和ませてくれる。
- ・気づきや改善点、新しい発想が生まれる。
- ・地域のことを一緒に考え、つながりができる。
- ・職員、ボランティアの相乗効果が期待できる。
- ・利用者さんが楽しみにしている、喜ぶ。

平成27年度 東日本大震災追悼行事

東日本大震災から5年の節目を迎えるにあたり、犠牲者への追悼と被災地の日も早い復興を祈念するとともに、震災を風化させず未来に引き継ぐため、関係団体が連携し追悼・復興記念行事を行います。

***期 日** 平成28年3月11日(金)

***対 象** 東日本大震災を機に鶴岡市に避難されている方、鶴岡市民

復興祈願祭	打 鐘	追悼式典	キャンドルの夕べ
・出羽三山神社(鶴岡市羽黒町) 14:00~15:00 災害復興復旧祈願祭、犠牲者慰霊祭 ☎出羽三山神社社務所 ☎62-2355 ・三瀬気比神社(鶴岡市三瀬) 10:00~11:00 復興祈願祭 ☎三瀬地区自治会、三瀬気比神社氏子会 ☎73-2001	・吉祥寺(鶴岡市板井川) 14:00~15:00 犠牲者追悼の打鐘 ☎龍蔵寺 ☎22-7886	・鶴岡アートフォーラム(鶴岡市馬場町) 14:30~15:30 黙祷、鶴岡市長挨拶 鶴岡市社会福祉協議会長挨拶 若者による未来へのメッセージ ☎鶴岡市 ☎25-2111 鶴岡市社会福祉協議会 ☎24-0053 5年目のキャンドルナイト実行委員会 ☎28-2880	・鶴岡アートフォーラム(鶴岡市馬場町) 18:45~20:00 キャンドルの点灯、 合奏や合唱など ☎5年目のキャンドルナイト 実行委員会 ☎28-2880

鶴岡福祉バス抽選会 事前申請受付(平成28年4月~平成28年6月分)

鶴岡福祉バス抽選会(平成28年4月~平成28年6月予約分)のための事前申請を次の日程で受付けます。
(申請書は社会福祉協議会 総務課にあります)

***対象期間** 平成28年4月~6月 1団体1回の予約ができます。※申請書の備考欄に希望月を記入してください。

***利用対象** 旧鶴岡市域に住所を有する個人または団体 ***申請期間** 平成28年2月1日(月)~2月15日(月)

***抽 選 日** 平成28年2月25日(木) ***申込み・問合せ** 鶴岡市社会福祉協議会総務課 TEL24-0053

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
(平成27年11月6日から平成28年1月5日までのご寄付を掲載しています)

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

- ・鶴岡市立荘内看護専門学校 看学祭実行委員会 様 10,000円
- ・鶴岡「小さな親切」の会 様 車椅子1台
- ・真如苑庄内支部 様 200,000円
- ・齋藤 博 様 1,820,000円
- ・株荘内日報社 様 50,000円

◎藤島福祉センターへ

- ・曹洞宗山形県第三宗務所 様 50,000円
- ・藤島婦人会 様 5,000円

◎温海福祉センターへ

- ・匿名 50,000円

★鶴岡老人福祉センターへ

- ・山形県立鶴岡工業高等学校定時制工業技術科 様 木製椅子2脚
- ・今福 圭子 様 座布団20枚

★地域福祉センターなえづへ

- ・株産直あぐり 様 ふじりんご3ケース

★高齢者福祉センターおおやまへ

- ・衣川 みつ子 様 37,102円
- ・鶴岡市立大山小学校 様 11,000円
- ・加藤敏明 様、加藤千恵 様 30,000円

★老人デイサービスセンターおおやまへ

- ・鶴岡ナイスフェローライオンズクラブ 様 門松1対

★はちもりへ

- ・志田 伊津子 様 天然水120本
- ・加藤 章 様 竹炭のオブジェ1組

★櫛引すこやかセンターへ

- ・株産直あぐり 様 ふじりんご6ケース

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- ・佐藤 正 様、佐藤 竹子 様 20,000円
- ・株式会社 クアボリス温海 様 30,000円
- ・匿名 20,000円

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

- ・マックスバリュ鶴岡南店 様 クリスマスプレゼント(詰合せ)80セット
- ・株産直あぐり 様 りんご3ケース
- ・匿名 スマイルサンタクロース 様 クリスマスケーキ8ホール

★もみじが丘へ

- ・吉野屋 様 5,228円
- ・マックスバリュあつみ店 様 クリスマスケーキ11ホール、みかん4箱、お菓子10袋
- ・株産直あぐり 様 ふじりんご2ケース

★くしびき南部保育園へ

- ・出羽商工会工業部会櫛引支部 様 絵本10冊、紙芝居5冊
- ・田川建設労働組合櫛引支部 様
- ・鶴岡自動車学園同友会 様 交通安全紙芝居6冊

おだがいさま

第62号
平成28年2月1日発行
発行部数 49,300部



編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号(にこ♥ふる2階)

TEL 0235-24-0053 FAX 0235-23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

鶴岡福祉センター TEL 24-0053

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。